備　前　市　事　務　事　業　評　価　シ　ー　ト

（平成24年度事業）

事業の概要

事業開始年度		平成１２年～	根拠法令・例規等		浄化槽法
総合計画	大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目	基本施策	01	生活しやすいまちづくり	
	小項目	施策	10	適正な維持管理	
事務事業名			08	個別排水処理施設管理運営事業	

問合先	担当課（室）	下水道課
	職・氏名	参事　初治　慎一
	電話	0869-63-2330
このシート作成に要した時間		3.0　時間

Plan

事業の目的

対象（誰・何に対して）	吉永町地内の特定環境保全公共下水道及び農業集落排水施設供用開始区域外で生活する市民及び不特定多数
目的（何のために）	文化的で快適な生活環境の提供を図り、併せて公共水域の水質保全に資する。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	個別浄化槽の処理機能を維持し、処理水の水質を良好に保つとともに、未接続や未供用の解消を推進する。

Do

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
個別排水処理施設管理運営事業	個別浄化槽の処理機能を維持し、処理水の水質を良好に保つための清掃と管理委託	○

事業費等		単位	平成22年度実績		平成23年度実績		平成24年度実績	
決算額 事業費	直接事業費	千円		23,268		24,147		23,779
	必要人員 人件費		0.03人	187	0.01人	107	0.05人	555
	事業費計			23,455		24,254		24,334
財源	国県支出金	千円						
	受益者負担							
	繰入金							
	市債							
	その他（　）							
	一般財源			23,455		24,254		24,334
受益者負担比率		%		—		—		—

結果指標名		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
結果指標	個別排水処理施設使用人数	説明	3月31日現在の住民基本台帳及び外国人登録票の人数		
	結果指標量	㎥	221	223	220
	対前年比	%	—	100.9%	98.7%
	活動コスト	円	23,455,033	24,254,316	24,334,167
	単位当たりコスト		106,131	108,764	110,610

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

事業の成果

成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
水洗化率（%）	目標値（A）	100.0	100.0	100	100.0
	実績値（B）	94.4	96.1	95.7	到達目標値
	達成率（B/A）	94.40%	96.10%	95.70%	平成30年度

成果指標設定の考え方・式や説明

浄化槽接続人口/対象区域内人口

Check

事務事業の評価

該当する項目を☐から■へ　＜ ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください＞

妥当性の評価

市の関与の妥当性

- ☐ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- ■ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- ☐ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- ☐ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- ☐ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- ☐ 事業開始当初の目的から変化してきている
- ☐ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている

必要性

- ■ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある

市民ニーズ

- ☐ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A 高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**C**

効率性の評価

コスト

- ☐ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- ☐ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- ☐ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- ■ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい

手段

- ☐ 受益者負担率は適正である
- ☐ 受益者負担率を見直す余地がある
- ■ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- ☐ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- ☐ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A 高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**C**

有効性の評価

目的達成度

- ■ 成果指標の設定は適切である
- ■ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- ☐ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- ☐ 成果指標達成率は80%未満となっている
- ☐ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない

市民参画度

- ☐ 法定事務　・　内部管理事務　であり成果は求めにくい
- ☐ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- ☐ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A 高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**C**

進行年度（H25年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明：接続人口及び戸数は、現状で推移する見込みであるが、浄化槽の老朽化等による修繕費の増加が予測される。

総合評価

浄化槽の処理機能は適正に保たれており、処理コストを抑えるよう努力する。

総合評価（A 高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**C**

Action

平成26年度の方向性・取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

取組目標：接続人口及び戸数は、現状で推移する見込みであるが、浄化槽の老朽化等による修繕費の増加が予測される。